



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 タカラバイオ株式会社
 コード番号 4974 URL <http://www.takara-bio.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 仲尾 功一
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 松崎 修一郎 TEL 077-565-6970
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	20,645	△0.3	2,724	88.6	2,869	69.0	1,561	154.4
28年3月期第3四半期	20,706	19.7	1,444	14.4	1,697	22.6	613	ー

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △1,482百万円 (ー%) 28年3月期第3四半期 227百万円 (△19.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	12.97	ー
28年3月期第3四半期	5.10	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	64,675	58,411	90.2	484.42
28年3月期	66,591	60,110	90.1	498.34

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 58,332百万円 28年3月期 60,007百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	ー	0.00	ー	1.80	1.80
29年3月期	ー	0.00	ー		
29年3月期(予想)				4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,100	△2.1	3,100	16.2	3,430	3.9	1,350	1.2	11.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記情報）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	120,415,600株	28年3月期	120,415,600株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	－株	28年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	120,415,600株	28年3月期3Q	120,415,600株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。今後発生する状況の変化等によっては、実際の業績等は上記予想数値と異なる場合があります。

(参考) 個別業績予想

平成 29 年 3 月期の個別業績予想 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
通 期	百万円 % 19,013 7.9	百万円 % 6 -	百万円 % 1,751 20.9	百万円 % 1,135 61.8	円 銭 9 43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。今後発生する状況の変化等によっては、実際の業績等は上記予想数値と異なる場合があります。

なお、平成 28 年 11 月 10 日に公表した通期業績予想を修正しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(その他の注記)	10
(重要な後発事象)	11
4. 補足情報	12
(1) 経営管理上重要な指標の推移	12
(2) 連結比較損益計算書	13
(3) 連結業績予想に関する比較損益計算書	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、景気に緩やかな回復基調が見られました。しかしながら、英国のEU離脱問題、中国や新興国経済の減速、米国大統領の今後の政策の影響など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、長年培われたバイオテクノロジーを活用し、バイオ産業支援事業、遺伝子医療事業、医食品バイオ事業の3つの領域に経営資源を集中し、業績の向上に努めました。

その結果、売上高は、海外における現地通貨ベースでは増収となりましたが円高の影響が大きく、20,645百万円（前年同期比99.7%）となりました。売上原価は、品目別の売上構成の変化等により原価率が低下し、8,106百万円（前年同期比88.1%）となりましたので、売上総利益は、12,538百万円（前年同期比109.0%）となりました。販売費及び一般管理費は、研究開発費等の減少により9,813百万円（前年同期比97.5%）と減少しましたので、営業利益は、2,724百万円（前年同期比188.6%）と増益となりました。

営業外損益では、前期の為替差益が当期は為替差損に転じたことや受取利息の減少等により収支が悪化したものの、経常利益は、2,869百万円（前年同期比169.0%）と増益となりました。

特別損益では、当社の大津事業所（旧本社）にかかる減損損失199百万円が発生したものの、税金等調整前四半期純利益は、2,625百万円（前年同期比156.9%）と増益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益も1,561百万円（前年同期比254.4%）と増益となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。

[バイオ産業支援]

バイオテクノロジー関連分野の研究開発活動がますます広がりを見せるなか、当社グループは、こうした研究開発活動を支援する製品・商品やサービスを中心に展開する当事業をコアビジネスと位置づけております。

当第3四半期連結累計期間の品目別売上高の状況については、主力の研究用試薬や理化学機器の売上高は、円高の影響もあり前年同期比で減少いたしました。受託サービスの売上高は前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、外部顧客に対する売上高は18,420百万円（前年同期比97.6%）と減収となりましたが、品目別の売上構成の変化等により原価率が低下し、売上総利益は11,579百万円（前年同期比105.5%）と増加いたしました。販売費及び一般管理費は、研究開発費等の減少により6,907百万円（前年同期比98.2%）と減少いたしましたので、営業利益は4,672百万円（前年同期比118.6%）と前年同期を上回りました。

[遺伝子医療]

当事業では、高効率遺伝子導入技術レトロネクチン法、高効率リンパ球増殖技術であるレトロネクチン拡大培養法、siTCR等の自社技術を利用した、がん等の遺伝子治療の早期商業化を進めております。

当第3四半期連結累計期間は、腫瘍溶解性ウイルスHF10に関する収入として500百万円が発生いたしました。

以上の結果、外部顧客に対する売上高は500百万円（前年同期は実績なし）となり、売上総利益も500百万円（前年同期は実績なし）となりました。販売費及び一般管理費は1,230百万円（前年同期比98.2%）と減少いたしましたので、営業損失は730百万円（前年同期は営業損失1,252百万円）となりました。

[医食品バイオ]

当事業では、食から医という「医食同源」のコンセプトに基づき、当社グループ独自の先端バイオテクノロジーを駆使して日本人が常食している食物の科学的根拠を明確にした機能性食品素材の開発、製造および販売を行っており、ガゴメ昆布フコイダン関連製品、ボタンボウフウイソサミジン関連製品、明日葉カルコン関連製品、寒天アガフィトース関連製品、ヤムイモヤムスゲニン関連製品およびキノコ関連製品等を中心に事業を展開しております。

当第3四半期連結累計期間は、健康食品およびキノコ関連製品の売上高が前年同期比で減少いたしましたので、外部顧客に対する売上高は1,724百万円（前年同期比94.3%）と減収となり、売上総利益も459百万円（前年同期比85.9%）と減少いたしました。販売費及び一般管理費は、研究開発費等の減少により368百万円（前年同期比89.6%）と減少いたしました。営業利益は90百万円（前年同期比73.6%）と前年同期を下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態に関する分析)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は64,675百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,915百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の増加3,933百万円があったものの、有価証券の減少5,221百万円、有形固定資産の減少782百万円および無形固定資産の減少545百万円があったことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は6,263百万円となり、前連結会計年度末に比べて216百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等の減少114百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は58,411百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,698百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金の増加1,344百万円があったものの為替換算調整勘定の減少3,047百万円があったことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,488百万円の収入となり、前年同期に比べて120百万円の収入増加となりました。これは、売上債権の増加による収入の減少1,144百万円があった一方で、税金等調整前四半期純利益の増加951百万円や仕入債務の増加による支出の減少415百万円があったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、9,477百万円の収入となり、前年同期に比べて11,710百万円の収入増加となりました。これは主に、有価証券の売却及び償還による収入の増加7,088百万円、定期預金の払戻による収入の増加4,826百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、246百万円の支出となり、前年同期に比べて41百万円の支出増加となりました。これは主に、配当金の支払額の増加36百万円によるものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めた当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、15,448百万円となり、前連結会計年度末より9,879百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年11月10日の第2四半期決算短信で公表いたしました業績予想(連結・個別)及び配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日(平成29年1月30日)公表いたしました「業績予想の修正、配当方針の変更及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

当社の一部の国内連結子会社は、法人税法の改正にともない、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備および構築物にかかる減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(WaferGen Bio-systems, Inc. (以下、「WaferGen社」という。))の株式取得(子会社化)に向けての進捗状況)

平成28年5月13日付「WaferGen Bio-systems, Inc.の株式取得(子会社化)に係る買収合意書締結に関するお知らせ」において、当社の100%子会社であるTakara Bio USA Holdings Inc.を通じてWaferGen社の株式取得(子会社化)を実施する予定であることを公表しておりますが、本株式取得に関する契約については、平成28年11月15日(米国現地時間)開催のWaferGen社の臨時株主総会において決議されました。

その後、平成29年2月頃にWaferGen社の2016年12月期決算確定を受け、株式の取得価額を決定し、平成29年3月頃のクロージングを予定しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,384	23,317
受取手形及び売掛金	6,830	7,103
有価証券	9,721	4,500
商品及び製品	3,822	4,204
仕掛品	331	505
原材料及び貯蔵品	946	1,106
その他	1,163	934
貸倒引当金	△41	△28
流動資産合計	42,158	41,643
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,605	12,349
減価償却累計額	△5,398	△4,789
建物及び構築物(純額)	8,207	7,559
機械装置及び運搬具	7,014	6,503
減価償却累計額	△4,553	△4,289
機械装置及び運搬具(純額)	2,461	2,213
工具、器具及び備品	5,766	5,914
減価償却累計額	△3,621	△3,710
工具、器具及び備品(純額)	2,145	2,204
土地	7,696	7,582
リース資産	28	20
減価償却累計額	△26	△20
リース資産(純額)	2	0
建設仮勘定	22	191
有形固定資産合計	20,534	19,752
無形固定資産		
のれん	1,641	1,258
その他	1,054	890
無形固定資産合計	2,695	2,149
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,213	1,141
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	1,202	1,129
固定資産合計	24,432	23,031
資産合計	66,591	64,675

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,690	1,842
短期借入金	63	47
未払法人税等	515	400
引当金	196	330
その他	2,963	2,630
流動負債合計	5,430	5,251
固定負債		
長期借入金	130	116
退職給付に係る負債	488	496
その他	431	399
固定負債合計	1,050	1,012
負債合計	6,480	6,263
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,965	14,965
資本剰余金	32,893	32,893
利益剰余金	9,295	10,640
株主資本合計	57,155	58,499
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,109	62
退職給付に係る調整累計額	△257	△229
その他の包括利益累計額合計	2,852	△167
非支配株主持分	102	79
純資産合計	60,110	58,411
負債純資産合計	66,591	64,675

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	20,706	20,645
売上原価	9,199	8,106
売上総利益	11,507	12,538
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	2,287	2,294
退職給付費用	90	103
研究開発費	3,118	2,870
引当金繰入額	189	174
その他	4,376	4,370
販売費及び一般管理費合計	10,062	9,813
営業利益	1,444	2,724
営業外収益		
受取利息	125	84
補助金収入	87	62
その他	45	39
営業外収益合計	258	186
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	—	25
その他	3	14
営業外費用合計	5	41
経常利益	1,697	2,869
特別利益		
固定資産売却益	4	2
特別利益合計	4	2
特別損失		
固定資産除売却損	28	47
減損損失	—	199
特別損失合計	28	247
税金等調整前四半期純利益	1,673	2,625
法人税、住民税及び事業税	1,168	1,222
法人税等調整額	△112	△150
法人税等合計	1,055	1,071
四半期純利益	618	1,553
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	4	△7
親会社株主に帰属する四半期純利益	613	1,561

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	618	1,553
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△405	△3,063
退職給付に係る調整額	14	27
その他の包括利益合計	△390	△3,035
四半期包括利益	227	△1,482
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	226	△1,458
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△23

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,673	2,625
減価償却費	1,247	1,276
減損損失	—	199
その他の償却額	149	123
のれん償却額	135	121
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	△7
その他の引当金の増減額(△は減少)	151	152
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	25	10
受取利息	△125	△84
支払利息	1	1
固定資産除売却損益(△は益)	24	44
売上債権の増減額(△は増加)	507	△636
たな卸資産の増減額(△は増加)	△884	△1,323
仕入債務の増減額(△は減少)	△97	317
その他	△501	△193
小計	2,308	2,626
利息及び配当金の受取額	106	75
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△1,047	△1,041
過年度法人税等の支払額	—	△172
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,367	1,488
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,469	△3,868
定期預金の払戻による収入	4,374	9,200
有価証券の取得による支出	△4,088	△5,025
有価証券の売却及び償還による収入	3,088	10,177
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,073	△954
その他償却資産の取得による支出	△80	△59
その他	16	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,232	9,477
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△9	△14
長期借入金の返済による支出	△14	△13
配当金の支払額	△179	△216
リース債務の返済による支出	△1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△204	△246
現金及び現金同等物に係る換算差額	△111	△840
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,181	9,879
現金及び現金同等物の期首残高	7,071	5,568
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,889	15,448

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	バイオ産業 支援	遺伝子 医療	医食品 バイオ	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	18,878	—	1,828	20,706	—	20,706
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	5	5	△5	—
計	18,878	—	1,833	20,712	△5	20,706
セグメント利益または 損失(△)	3,938	△1,252	122	2,808	△1,363	1,444

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△1,363百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費であります。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	バイオ産業 支援	遺伝子 医療	医食品 バイオ	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	18,420	500	1,724	20,645	—	20,645
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	2	2	△2	—
計	18,420	500	1,727	20,647	△2	20,645
セグメント利益または 損失(△)	4,672	△730	90	4,032	△1,307	2,724

(注) 1. セグメント利益または損失(△)の調整額△1,307百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費および研究開発費であります。

2. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

大津事業所および独身寮の土地・建物の売却が当社取締役会にて決議されたことにより、それぞれ「バイオ産業支援」セグメントにおいて148百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産において51百万円の減損損失を計上しております。

(その他の注記)

(四半期連結損益計算書関係)

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

研究開発費の内訳

研究開発費の総額 2,870百万円

このうち主なものは、次のとおりであります。

従業員給料及び賞与 756

退職給付費用 33

引当金繰入額 61

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

(平成28年12月31日現在)

現金及び預金勘定 23,317百万円

預入期間が3か月を超える定期預金 △7,868

現金及び現金同等物 15,448

(減損損失)

当社グループは、減損の兆候を判定するにあたり、遊休資産を除き、原則として事業部門ごとを1つの資産グループとして資産のグルーピングを行っており、当第3四半期連結累計期間において、以下の資産について減損損失(199百万円)を計上いたしました。

(単位：百万円)

用途	場所	種類及び減損損失				合計
		建物及び 構築物	機械装置 及び運搬具	工具、器具 及び備品	土地	
試薬製造設備	当社大津事業所 (滋賀県大津市)	131	5	9	1	148
独身寮	当社 (滋賀県大津市)	16	—	0	34	51
	合計	148	5	9	36	199

①減損損失を認識するに至った経緯

上記の資産につきましては、当社取締役会にて売却の意思決定をしたことにより引き渡し時点での損失発生が見込まれることから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

②回収可能価額の算定方法

回収可能価額は、正味売却価額により測定しており、売却予定価額に基づき算定しております。

(重要な後発事象)

(株式取得による会社の買収)

平成28年12月15日に当社の100%子会社であるTakara Bio USA Holdings Inc. は、Rubicon Genomics, Inc. (以下、「Rubicon社」という。)の株式を取得し子会社化することについてRubicon社と買収合意書を締結し、平成29年1月17日に当該株式を取得いたしました。

(1) 株式取得の目的

当社グループでは、基礎研究から産業応用まで幅広い分野で利用されている次世代シーケンス解析用試薬キット開発に注力しております。Rubicon社が当社グループに加わることで、同社の持つ超微量DNA配列解析用サンプル調製技術と当社グループの持つ超微量RNA配列解析用サンプル調製技術が補完的に組み合わせることにより、超微量核酸解析領域でより幅広い製品・サービスを提供することが可能となります。さらに、平成29年3月に買収予定であるWaferGen社の次世代シーケンス解析用前処理システム(装置)が加わる事により、基礎研究から産業応用まで幅広い領域に製品・サービスを提供することが可能となります。

(2) 株式取得の相手会社の名称

被取得企業の経営者およびその他の株主

(3) 買収する相手会社の名称、事業の内容、規模

①名称	Rubicon Genomics, Inc.
②所在地	4743 Venture Drive, Ann Arbor, MI 48108 United States
③代表者の役職・氏名	Dr. James Koziarz, CEO
④事業内容	研究用試薬の製造・販売
⑤平成27年12月期の財政状態 および経営成績	資本金 : 13,249千ドル 純資産 : △447千ドル 総資産 : 4,338千ドル 売上高 : 8,346千ドル 営業利益 : 1,460千ドル

(4) 株式取得の時期

平成29年1月17日

(5) 取得する株式の数、取得価額および取得後の持分比率

①異動前の所有株式数	なし
②取得株式数	普通株式 : 23,006,790株 (議決権の数 : 23,006,790個)
③取得価額	Rubicon社の普通株式 75,000千ドル
④異動後の所有株式数	普通株式 : 23,006,790株 (議決権の数 : 23,006,790個、議決権所有割合100%)

(6) 支払資金の調達方法および支払方法

取得資金につきましては、全額タカラバイオグループ内の自己資金より充当いたします。

4. 補足情報

(1) 経営管理上重要な指標の推移

① キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

回次	第14期 第3四半期連結累計期間	第15期 第3四半期連結累計期間	第14期
会計期間	自平成27年4月1日 至平成27年12月31日	自平成28年4月1日 至平成28年12月31日	自平成27年4月1日 至平成28年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,367	1,488	3,021
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,232	9,477	△4,177
財務活動によるキャッシュ・フロー	△204	△246	△221

② 地域別売上高

前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

(単位：百万円)

日本	米国	中国	中国を除く アジア	欧州	その他	合計
9,007	4,394	4,086	1,186	1,684	346	20,706

当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

(単位：百万円)

日本	米国	中国	中国を除く アジア	欧州	その他	合計
9,581	4,677	3,476	1,017	1,709	182	20,645

③ 報告セグメントごとの研究開発費

(単位：百万円)

回次	第14期 第3四半期連結累計期間	第15期 第3四半期連結累計期間	第14期
会計期間	自平成27年4月1日 至平成27年12月31日	自平成28年4月1日 至平成28年12月31日	自平成27年4月1日 至平成28年3月31日
バイオ産業支援	1,731	1,550	2,298
遺伝子医療	1,239	1,214	1,756
医食品バイオ	71	21	111
全社共通	75	84	109
合計	3,118	2,870	4,275

(2) 連結比較損益計算書

(百万円未満切捨て)

	平成28年3月期 第3四半期連結累計期間実績	平成29年3月期 第3四半期連結累計期間実績	前期比 増減	前期比 比率
(売上高)				
研究用試薬	14,487	14,099	△ 388	97.3%
理化学機器	2,276	1,909	△ 366	83.9%
受託	1,780	2,092	312	117.5%
その他ファイン	333	318	△ 15	95.2%
バイオ産業支援計	18,878	18,420	△ 458	97.6%
遺伝子医療	-	500	500	-
健康食品	660	608	△ 51	92.2%
キノコ	1,167	1,115	△ 52	95.5%
医食品バイオ計	1,828	1,724	△ 103	94.3%
売上高計	20,706	20,645	△ 61	99.7%
(営業損益)				
売上高	20,706	20,645	△ 61	99.7%
売上原価	9,199	8,106	△ 1,093	88.1%
売上総利益	11,507	12,538	1,031	109.0%
販売費一般管理費	10,062	9,813	△ 248	97.5%
運送費	478	446	△ 31	93.3%
宣伝費	96	73	△ 23	75.9%
促進費	732	646	△ 85	88.3%
研究開発費	3,118	2,870	△ 248	92.0%
商標使用料(宝HLD)	6	6	△ 0	96.7%
管理費、その他	5,536	5,630	94	101.7%
事業税(外形基準)	93	139	46	149.9%
営業利益	1,444	2,724	1,280	188.6%
(営業外損益)				
営業外収益	258	186	△ 72	72.0%
営業外費用	5	41	35	697.0%
経常利益	1,697	2,869	1,171	169.0%
(特別損益)				
特別利益	4	2	△ 1	63.5%
特別損失	28	247	218	878.6%
税金等調整前当期純利益	1,673	2,625	951	156.9%
法人税等	1,055	1,071	16	101.5%
四半期純利益	618	1,553	935	251.3%
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	△ 7	△ 12	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	613	1,561	947	254.4%

減価償却費(有形・無形)	1,247	1,276	29	102.4%
研究開発費	3,118	2,870	△ 248	92.0%

セグメント別損益(営業利益)

	平成28年3月期 第3四半期連結累計期間実績	平成29年3月期 第3四半期連結累計期間実績	前期比 増減	前期比 比率
バイオ産業支援	3,938	4,672	734	118.6%
遺伝子医療	△ 1,252	△ 730	521	-
医食品バイオ	122	90	△ 32	73.6%
共通	△ 1,363	△ 1,307	56	-
計	1,444	2,724	1,280	188.6%

(3) 連結業績予想に関する比較損益計算書

(百万円未満切捨て)

	平成28年3月期 通期実績	平成29年3月期 通期前回予想	平成29年3月期 通期今回予想	前期比 増減	前期比 比率	前回予想比 増減	前回予想比 比率
(売上高)							
研究用試薬	20,488	19,515	19,409	△ 1,079	94.7%	△ 106	99.5%
理化学機器	3,087	2,663	2,761	△ 326	89.4%	97	103.7%
受託	3,309	3,527	3,578	268	108.1%	50	101.4%
その他ファイナ	434	488	476	41	109.4%	△ 12	97.5%
バイオ産業支援計	27,320	26,195	26,225	△ 1,095	96.0%	30	100.1%
遺伝子医療	-	-	500	500	-	500	-
健康食品	910	882	867	△ 43	95.3%	△ 14	98.4%
キノコ	1,497	1,522	1,507	9	100.6%	△ 15	99.0%
医食品バイオ計	2,408	2,404	2,374	△ 33	98.6%	△ 30	98.8%
売上高計	29,729	28,600	29,100	△ 629	97.9%	500	101.7%
(営業損益)							
売上高	29,729	28,600	29,100	△ 629	97.9%	500	101.7%
売上原価	13,405	12,061	12,080	△ 1,325	90.1%	18	100.2%
売上総利益	16,323	16,538	17,019	696	104.3%	481	102.9%
販売費一般管理費	13,655	13,688	13,919	263	101.9%	231	101.7%
運送費	632	584	588	△ 44	93.0%	4	100.7%
宣伝費	122	102	86	△ 36	70.1%	△ 16	84.1%
促進費	971	901	851	△ 120	87.6%	△ 50	94.4%
研究開発費	4,275	4,245	4,212	△ 62	98.5%	△ 33	99.2%
商標使用料(宝HLD)	8	8	8	△ 0	99.2%	△ 0	99.8%
管理費、その他	7,509	7,663	7,981	471	106.3%	317	104.1%
事業税(外形基準)	136	182	191	55	140.7%	8	104.9%
営業利益	2,667	2,850	3,100	432	116.2%	250	108.8%
(営業外損益)							
営業外収益	642	375	392	△ 249	61.2%	17	104.7%
営業外費用	8	75	62	54	778.8%	△ 12	83.4%
経常利益	3,301	3,150	3,430	128	103.9%	280	108.9%
(特別損益)							
特別利益	4	2	2	△ 1	56.2%	△ 0	91.9%
特別損失	399	380	719	319	180.0%	338	189.0%
税金等調整前当期純利益	2,905	2,771	2,712	△ 192	93.4%	△ 59	97.9%
法人税等	1,565	1,417	1,361	△ 204	86.9%	△ 56	96.0%
当期純利益	1,340	1,353	1,351	11	100.9%	△ 2	99.8%
非支配株主に帰属 する当期純利益	5	3	1	△ 3	29.1%	△ 2	40.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,334	1,350	1,350	15	101.2%	0	100.0%

減価償却費(有形・無形)	1,687	1,753	1,720	32	101.9%	△ 32	98.1%
研究開発費	4,275	4,245	4,212	△ 62	98.5%	△ 33	99.2%

セグメント別損益(営業利益)

	平成28年3月期 通期実績	平成29年3月期 通期前回予想	平成29年3月期 通期今回予想	前期比 増減	前期比 比率	前回予想比 増減	前回予想比 比率
バイオ産業支援	6,138	6,476	6,200	61	101.0%	△ 276	95.7%
遺伝子医療	△ 1,773	△ 2,049	△ 1,457	315	-	591	-
医食品バイオ	110	160	138	28	125.3%	△ 21	86.7%
共通	△ 1,808	△ 1,737	△ 1,781	27	-	△ 43	-
計	2,667	2,850	3,100	432	116.2%	250	108.8%